

## 社会教育における子ども施策の取組状況及び課題

教育委員会

子ども・子育て支援事業の一体化を図ることを目的に、平成 29 年 4 月の組織機構の見直しにより、教育委員会の所管であった青少年教育に関する事務については、市長部局（子ども支援部青少年課）に移管されました。

また、教育委員会においては、学校教育と社会教育の一層の連携を図るため、部を統合し「教育部」の 1 部制となりました。

今回、「子ども施策における社会教育と福祉部門との連携について」として、教育委員会で取り組む子ども施策の取組状況及び課題をもとに、施策の課題解決に向けた取り組み、市長部局と教育委員会の連携について協議をいただくものです。

## 1 子ども施策の取組状況

教育委員会では、社会教育の一環としての子ども施策に関する事業について、従来どおり実施している。

公民館、博物館、図書館では、平成 28 年度に策定した各施設の基本計画において、子ども施策を重点的な取り組みに位置づけている。

社会教育の事業として、各施設等において様々な体験事業、子育て支援・家庭教育事業を実施している。

<各課の取組状況は別添資料参照>

## 2 施策に取り組むうえでの課題

## 【事業実施上の課題】

- ・小学生を対象とした体験事業が多く、中高生向けの事業が不足。
- ・青少年が企画運営する事業が不足。
- ・ボランティア、役員の担い手の不足。
- ・必要課題と要求課題が分析、整理された事業であるか。
- ・事業の目的・目標を意識し取り組んでいるか。事業の成果・効果を検証しているか。
- ・地域の協力を意識した事業であるか。

## 【組織見直しによる課題】

- ・事業実施に際しての市長部局と教育委員会の連携・協力体制。
- ・子どもが抱える課題について共通認識を図ることが必要。
- ・学校教育、社会教育の連携による事業の実施。

## 社会教育における子ども施策の取組状況及び課題

中央公民館

公民館は平成29年度の主催・共催事業459事業を計画し実施しています。そのうち子育て支援・家庭教育事業は41事業、青少年事業は91事業の合計132事業です。

### 子育て支援・家庭教育事業（41事業）

各公民館は、乳幼児を持つ親同士が、子育てに必要な知識を学びながら、親子のふれあいや仲間づくりを図るための子育て教室・のびのび子育て講座等の事業を実施しています。

### 代表的な事業

- ・「子育てフェスティバル」（西武公民館）：子育て中の全ての人と地域・企業が一同に介し、子育て支援の取り組みの普及や情報発信
- ・市民提案型協働事業「なかまほいく」（中央公民館）：NPO法人あそびあーとこども劇場いるまとの協働による子育て講座で10回コースを春と秋に実施

### 課題

- ・核家族化、親の価値観の多様化、地域のつながりの希薄化等により、家庭・地域の教育力が低下している。
- ・子育てサークル等の団体の会員数が減少していることにより支援が必要である。

## 青少年事業（91事業）

各公民館が、青少年活動団体等と連携して、各種体験事業を実施。

- ・自然体験事業：サマーキャンプ（金子）、子ども冒険クラブ（二本木）、野菜作り収穫体験教室（扇町屋、藤の台）
- ・工作・ものづくり体験：扇町屋子ども大学（扇町屋）、夏休み子ども図工教室（高倉） 他
- ・料理体験：小学生料理教室（東町）、子どもスイーツデコ教室（東金子） 他
- ・芸術体験：キッズアート教室（金子）、子ども陶芸体験教室（西武） 他
- ・文化体験：親子手漉き和紙体験教室（東町）、小学生書き初め教室（藤の台） 他
- ・科学体験：夏休み科学実験教室（高倉）、天体観望会（藤の台） 他
- ・交流体験：子どもまつり（宮寺・二本木）、ジュニアリーダー養成講座（金子） 他
- ・社会体験：夏休み親子社会見学（久保稲荷）、こども消防体験（藤沢・藤の台） 他
- ・その他の体験：元気な人間っ子を育てる支援事業、交通安全教室と映画会、彩の国21世紀郷土かるた大会、わんぱく相撲練習会等（各地区公民館）

## 代表的な事業

- ・ドラマフェスタ in 入間（中央）：ドラマフェスタ in 入間実行委員会の企画・運営による「市民ミュージカル」「ワークショップ」等、市民文化の創造、発表の場
- ・キッズ・アート・ギャラリー（中央）：作品展示とワークショップによる、子どもを対象にした美術イベント
- ・小学生サマーキャンプ・ジュニアリーダー研修キャンプ（金子）：小学生はキャンプの楽しさを体験し、中・高校生はキャンプの技術向上を目指した自然体験事業

## 課題

- ・主に小学生を対象とした体験事業が多く、中高生向けの事業が不足している。
- ・単発の事業が多く、青少年が企画運営する事業が不足している。
- ・青少年関係団体は会員減少や役員の担い手不足等の課題があり、支援の充実を図る必要がある。

社会教育における子ども政策の取組状況及び課題

社会教育課

No.	施策名	事業名称	事業内容	課題
1	体験事業 (学社連携事業)	子ども大学さやま・いるま	子どもの学ぶ力や生きる力の向上を目指し、また、その知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することを目的に実施	応募者が85名の内、定員が30名のため、抽選となった。東京家政大学・狭山市教育委員会との共催であり、参加者数の増員をすることは難しい。
2	体験事業 (学社連携事業)	子ども音楽大学いるま	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供することを目的に実施	応募者が36名の内、定員が30名のため、抽選となった。武蔵野音楽大学が、平成29年度から大学機能が全て、江古田キャンパスに移転したため、3回の講義が全て入間キャンパスで実施することができなくなった。
3	体験事業 (学社連携事業)	いるまキッズアカデミー	家庭学習支援の一環として、「楽しみながら勉強をする」ことを目標に、様々な教科に関する体験教室を学社連携事業として実施	応募者が109名の内、50名しか受講することが出来ず、抽選を行なった。 (当初定員は30名であったが、50名に増やした。) 第2回目は2月に社会科をテーマにした事業の実施予定。

No.	施策名	事業名	事業内容	課題
4	体験事業 (学社連携事業)	夏休み小学生各種体験一覧表	夏休み期間、小学生を対象に市内で行なわれる体験事業を一覧表にまとめ、身近で興味のある事業に数多く体験をして頂くことを目的に配布	一覧表の配布時期の関係で、全ての体験事業を掲載することが出来なかった。中学生を対象とした体験事業については、HP上に掲載をしたが、一覧表としては作成できなかった。
5	家庭教育の支援	P T A家庭教育学級	子育ての中で生じる様々な問題に対して、家庭教育のあり方を学習したり、親としての悩みや不安を共有しながら、解消する方法を学習することを目的に実施。	参加して頂く保護者が限定的であり、かつ参加者数が少ない。

#### 施策、事業を進めるうえでの課題

各種体験事業については、学校を通じてお知らせを行ったり、市報やHP等で募集を実施しているが、子どもが参加する事業については、その保護者の意識や捉え方の違いで、参加するかしないかが決まってくるケースが多い。

よって、参加して欲しい児童・生徒が参加せず、様々な事業に参加している児童・生徒がまた参加することも多く見られる。

## 社会教育における子ども施策の取組状況及び課題

### 図書館

No.	施策名	事業名	事業内容
1	家庭・地域の教育力の向上	図書館利用教室	小学校2年生を対象に図書館の利用方法を学んでもらうため、図書館職員が学校を訪問し、図書館利用方法の説明やブックトーク、本の読み聞かせの実施。
2	家庭・地域の教育力の向上	図書館施設見学	小学校3年生を対象に図書館の利用方法を体験するとともに、図書館の仕事を知ってもらうため、図書館施設見学会を開催。
3	魅力ある図書館づくりの推進	子ども読書推進事業	子どもの読書を推進するため、幼児～小学生を対象に、「みてみてよんで」や「あれこれブックガイド」の配布や、読書ラリー（読書ビンゴ）を実施。
4	魅力ある図書館づくりの推進	図書館利用促進事業	図書館に親しみ利用を促進するため、人形劇や講演会、おたのしみ会、子ども映画会、工作教室など各種事業の開催。
5	魅力ある図書館づくりの推進	おはなし会	子どもに本の楽しさを知ってもらうため、毎週各館毎に決められた日時に、絵本や紙芝居の読み聞かせ等の実施。
6	家庭・地域の教育力の向上	プチ一日図書館員 中学生社会体験チャレンジ事業	図書館職員のしごとを体験してもらうため、小中学生を対象に一日図書館職員体験会を実施。 中学生の社会体験事業として図書館の仕事の体験。
7	家庭・地域の教育力の向上	配本サービス 移動図書館車の学校定期巡回	本との出会い触れ合いの機会を増やすため、また、調べ学習に利用してもらうため、小学校や学童保育室を中心（39箇所）に図書を配本。 図書との出会いと貸出しの機会を提供するため、移動図書館車の学校（8校）への定期的な巡回。

No.	施策名	事業名	事業内容
8	家庭・地域の教育力の向上	子どもの文章のつづり方教室	文章のつづり方を学んでもらうため、小学生を対象に、数回のフィールドワークや講座を開催。
9	家庭・地域の教育力の向上	ブックスタート関連事業	赤ちゃんと親とのコミュニケーションに有効な絵本の読み聞かせについて知ってもらうため、健康福祉センターで行われる予防接種の待ち時間に合わせ、講話の実施。
10	図書館資料の充実	子ども向け資料の充実	子どもの読書推進のため、絵本・紙芝居を含む児童図書の充実を図る。ティーンズ向けの図書の充実を図る。
11	家庭・地域の教育力の向上	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館との連携を図るため、市内小・中学校図書館でボランティア活動を行っている方を対象に、読み聞かせ及び分類、修理についての研修会の実施。
12	魅力ある図書館づくりの推進	いるま子育てフェスティバル参加	本との出会い触れ合いの機会を増やすため、大型絵本や紙芝居の読み聞かせ、移動図書館車の展示の実施。
13	魅力ある図書館づくりの推進	ママCafé 参加 読み聞かせ	本との出会い触れ合いの機会を増やすため、未就学児と保護者、妊婦さんを対象に、絵本の読み聞かせの実施。

#### 施策、事業を進めるうえでの課題

- ・入間市立図書館における「子ども読書推進活動の基本方針」を第2次図書館基本計画期間（平成29年度～平成33年度）内に掲げるとともに、入間市における子どもたちが、成長段階においてふさわしい本と出会い、読書の喜びや楽しさを知り、積極的に読書に親しむことによって実りの多い、豊かな生涯を送れるように育て、導くことを目的に、更なる事業の推進を図る。
- ・各種事業は幼児から小学生が中心で、中高生が読書に親しむ施策の展開が望まれる。
- ・中学生の来館者が少ないように見受けられる。また、高校生の来館者は学習目的が多く、図書館資料の読書は少ないように思われる。
- ・図書購入費の更なる充実により、図書館資料の充実が望まれる。

社会教育における子ども施策の取組状況及び課題

博物館

No.	施策名	事業名	事業内容
1	体験事業	クイズラリー	展示の内容を題材としたワークシートに答えるクイズラリーをおこなう。
2	体験事業	探検ラリー	館内外の施設を題材としたワークシートに答えるクイズラリーをおこなう。
3	体験事業	夏休みこどもお茶大学	お茶に親しむ機会を作るために、緑茶・紅茶づくり体験・お茶の歴史と作法の体験 他を実施。
4	体験事業	夏休み親子で楽しむ遊びの広場・こどもの日親子で楽しむ遊びの広場	小中学生が夏休み・祝日を利用して博物館への理解を深めてもらうために当館ボランティア会員が手作りした遊び道具を使い遊んでもらう。
5	体験事業	ニンテンドーDS ガイド	ゲーム機を持参した児童が展示の理解を深めるよう、音声ガイドやクイズのデータを配信する。
6	体験事業	むかしのくらしと道具展	小学3・4年生の郷土学習に合わせ、体験学習と一体となった授業活用を行うと共に、休日には親子で楽しめる様々な実演や体験会を行う。

施策、事業を進めるうえでの課題

- ・体験事業の補助をするボランティアの高齢化

※地域の団体等が主催している同様な事業。

No.	主催団体名	事業名	事業内容
1	宮寺二本木地区子供会	宮寺二本木地区子どもまつり	博物館市民広場を使用し、グループ単位でゲームを行ない点数を競う。



## 子ども施策の取組状況

学校教育課

No.	施策名	事業名	事業内容
1	子ども未来室事業	巡回支援	発達障害の早期発見・支援のため専門職が保育所、小中学校等を訪問
2		幼児の通級指導教室	就学前の幼児期における発達障害またはその心配がある幼児への支援
3		小・中学校の通級指導教室	通常の学級に在籍し、発達や情緒の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し支援する教室
4		子ども支援員・介助員の配置	肢体不自由や、発達障害またはその心配がある児童生徒が通常の学級でスムーズに学校生活を送れるよう、支援・介助するもの
5		保幼小の接続支援	「遊びと学びの手引き」を活用し、保育・幼稚園から小学校へ滑らかな接続を図る
6		小中の接続支援	小中一貫教育の推進
7		中高の接続支援	高校教員の中学校への出前講座、中学2年時の高校への授業体験、中高の校長懇談会等、市の卒業生が充実した高校生活を送れるよう支援
8		親の学習講座	すべての保護者を対象とした講座で親が成長することが目的
9		ペアレントサポート講座	乳幼児の両親を対象に専門職による講座や、親同士の情報交換、親のストレス軽減を図る
10		スクールソーシャルワーカー派遣	教育の知識に加え福祉の専門知識を用いて、多様化する児童・生徒の諸問題に関係機関と連携し対応する